

私立大学図書館協会 2016 年度第 6 回国際図書館協力委員会議事要録

日 時： 2017 年 2 月 14 日（火）14：00～17：00
場 所： 慶應義塾大学 信濃町メディアセンター 地下会議室
出席者： 工藤晶子（学習院大学）， 坐間礼子（桜美林大学），
中島操（同志社大学）， 渡辺英二（中京大学），
井口紀子（福岡大学）， 館田鶴子（委員長・慶應義塾大学）
会長校： 千葉信一， 布施賢治（東洋大学）
事務局： 吉沢亜季子（慶應義塾大学）
配付資料：

1. 2016 年度第 4 回国際図書館協力委員会議事要録
2. 2016 年度第 2 回常任幹事会
3. 『図書館年鑑 2016』への原稿
4. 寄贈資料搬送事業
5. 海外派遣研修
6. 海外認定研修（A， B）案内
7. 海外認定研修（B）実施関連
8. 国際図書館協力基金への支援依頼
9. 委員会委員選出東地区ローテーション
10. 今期 2 年間の報告書案
11. 事業費出納帳
12. 国際図書館協力委員会スケジュール

議事：

会議に先立ち、2016 年度第 4 回国際図書館協力委員会議事要録の確認があった。
（資料 1）

報告事項：

1. 2016 年度第 2 回常任幹事会報告（資料 2）

12 月 2 日に福岡大学で開催された第 2 回常任幹事会にて、当委員会から「2016 年 8 月から 11 月末までの活動について」を報告した。また、以前から検討してきた「東地区委員・委員長校ローテーションの見直し案」を提案した。東地区委員選出大学枠の拡大により、委員会の活性化をはかるという内容である。協議の結果、提案の通り承認され、2019 年度からの運用に向け引き続き調整を進めることとなった。
2. 『図書館年鑑 2016』への原稿提出（資料 3）

JLA 国際交流事業委員会から原稿の依頼があり、「国際図書館協力委員会事業実施概要（2016 年 1 月～12 月）」を提出した。
3. 2016 年度各事業進捗状況
 - (1) 寄贈資料搬送事業（資料 4）
 - ・後期 審査・採択決定
 - 8 件（国際大学、杏林大学、専修大学、跡見学園女子大学、大妻女子大学、昭和女子、慶應義塾大学（2 件））の申請があった。いずれも、第 5 回国際図書館協力委員会（メール会議）において採択することを決定した。7 大学 8 件で合計 ¥643, 040、会長校の処理により申請大学への支払いは完了している。
 - (2) 2017 年度海外派遣研修（イリノイ大学モートンソンセンター）（資料 5）

応募者なし

 - ・募集期間：2016 年 8 月 23 日～10 月 31 日
 - ・日 程：2017 年 5 月 24 日～ 6 月 20 日（6 月 22 日～27 日にシカゴで開催される ALA 年次総会に参加可能。参加費の補助あり。）一大学からの申請があったが、大学側の事情により面接前に辞退された。

(3) 海外認定研修 (資料6, 7)

A: 2016年度の募集 (一次締切り 10月31日、二次締切り 2017年2月28日) を実施中であるが、現在のところ申請はない。

B: 2017年度の募集 ALA・米国図書館研修 (図書館総合展運営委員会企画) 加盟館へ通知文書送信 (応募開始): 2月3日 募集人数: 6名 先着順
研修日程: 2017年6月19日~26日 締切日: 2017年4月18日
委員会は年度末で終了するが、事務局のみ申し込みの窓口として待機する。

4. 2016年度国際図書館協力基金への支援依頼 (資料8)

「国際図書館協力基金へのご支援について (お願い)」を14社に送付した。現在のところ、6社から合計55万円の入金があった。(昨年度は、8社、合計65万円の入金。) 募集期間は、2016年11月14日~2017年3月10日となっている。8月に開催される私立大学図書館協会2017年度総会で、「2016年度ご寄付いただいた企業」として報告する。

5. 東地区委員・委員長校ローテーションについて (資料9)

前回の会議で審議事項となった2019年度以降の東地区委員・委員長校ローテーションの見直し案は、12月2日に開催された第2回常任幹事会にて承認された。本案は東地区部会長校の学習院大学と当委員長校の慶應義塾大学が中心となり、これまでの経緯を踏まえて作成したものである。2016年度第2回常任幹事会以降、第1枠ローテーションの早稲田大学と、新設した第2枠の候補大学である3大学 (明治大学、立教大学、法政大学) へ趣旨を説明して内諾を得ている。3月3日に開催される第2回東西合同役員会で見直し案を提出する。

なお、次期2017-2018年度の委員は、2015年度第2回東西合同役員会 (2016年3月4日開催) の懇談事項で確認されている。

審議事項:

1. 今期2年間の振り返りと次期委員会への申し送り (資料10)

委員長より、当委員会の「2015年度・2016年度活動報告」案の説明があった。事業ごとに2年間の活動の総括と課題、意見等を記述した原稿案に、委員からの意見を反映し、再編成をしたものを会長校へ提出する。活動報告は3月3日に開催される第2回東西合同役員会の懇談事項で配付され、次期委員会へ申し送りの資料ともなる。

その他:

1. 「私立大学図書館協会2016年度研究大会での講演」ウェブサイトへの掲出

8月26日に開催された研究大会での、マルラ俊江氏 (Librarian for Japanese Collection, C.V. Starr East Asian Library, University of California, Berkeley) による講演「日本研究司書の仕事: カリフォルニア大学を事例として」の記録を、協会のウェブサイトへ掲載することとなった。今回は講演会としたことの説明文とともに、講演記録と講演資料を、国際図書館協力シンポジウムのウェブサイト (<http://www.jaspul.org/collegium/cat4/>) へ掲出する。(その後、2月20日に公開となった)

2. 国際図書館協力委員会「事業費」執行状況 (資料11)

現在の残金は、1,099,458円。国際図書館協力特別会計 (事業費) の中間決算②会計処理について、会長校より2月10日締め2月17日提出との連絡を受けている。3月末締めの決算報告書は、海外認定研修 (A) の締切日 (2/28) 後に作成する。

3. 今後のスケジュールについて (資料12)

委員会任期中の活動は、海外認定研修 (A) の審議 (締切日2月28日) を残すのみとなった。委員長の候補大学が決まり次第、速やかに引継ぎの準備を行う。

以上